



Yomeishu 次のすこやかさへ、一步一步



Corporate Profile

養命酒製造株式会社
会社案内



生活者の信頼に応え、 豊かな健康生活に貢献する

私たちは、この経営理念の下、
心身の健康を願い、豊かで平和な生活を求めている、
生活者の皆様に満足していただける商品やサービスを提供いたします。

「養命酒」は、1602年(慶長7年)に創始者塩澤宗閑翁の
健康への願いから創製され、今日まで造り続けられてきました。
時代は移り変わっても、私たちに連綿と受け継がれているのは、
皆様の健康生活に貢献しようとする精神であり、
養命酒製造株式会社の全ての事業はこの理念を基本としております。

私たちは、豊かな健康生活のお手伝いができることを誇りに思い、
これからも多くの皆様の信頼に対して、
最大限にお応えできるよう努めてまいります。

次のすこやかさへ、一步一步



時代をこえて受け継がれ、
積み重ねてきた知恵と技術を大切にしながらも、
私たちが立ち止まることはありません。

次のすこやかさへ、一步一步

お客様のすこやかな日々に寄り添うために
私たちは、たゆまぬ歩みで
新しい可能性を追求し続けます。





ご挨拶

当社の主力商品であります「養命酒」は、今から400年以上前の1602年（慶長7年）に、信州・伊那谷で創製された薬酒です。その評判が次第に広まり、より多くの皆様にお役立ていただくため、1923年（大正12年）に全国販売に向けて会社組織といたしました。その後、海外への輸出も開始し、主に東南アジア諸国を中心として海外市場におきましても安心、安全な品質の商品としてご利用いただき、ご信頼をいただいております。

また、生薬やハーブに関する当社の長年の研究成果を活かして開発をした「酒類」や「食品・飲料」、ショップ、レストランの商業施設「くらすわ」をはじめとして、癒しや健康を皆様にお届けするための事業にも取り組んでおります。

今後も、より多くの皆様のご信頼の下、より品質の高い商品を作り続け、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の実現に向けて、邁進してまいります。

養命酒製造株式会社
代表取締役社長

塩澤 太郎



養命酒関連事業

健やかな毎日を送っていただくために

暮らしに寄り添いながら皆様の健康をサポートいたします。

「薬用養命酒」「酒類」「食品・飲料」等の
商品展開、海外事業、通販事業、
商業施設の運営等に取り組んでいます。



薬用養命酒

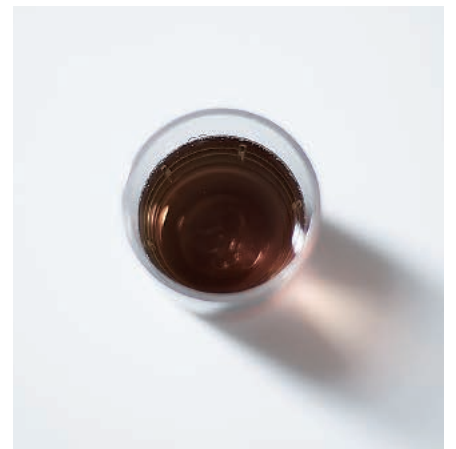
第2類医薬品

しょうやく やくしゅ
生薬のチカラ、健康の薬酒



薬用養命酒とは

「薬用養命酒」は、毎日の暮らしの中で少しずつお飲みいただく薬酒です。「薬用養命酒」の中には14種類からなる自然の生薬の薬効成分が溶け込んでいます。生薬とアルコールの協力作用によって、全身の血行を良くし、体質を根本的に向上させていき、体調を整えます。つまり、私達の体に備わる治癒力を高め、この働きが低下していることで起きるさまざまな症状を体のもとから改善するという特徴があります。日々の暮らしの中で、こつこつお飲みいただくことによって、体を本来の健康に導きます。



薬用養命酒
〈1,000mL〉



薬用養命酒
〈700mL〉

瓶口に中栓が付きました。

「薬用養命酒」を飲み進めるうちに、エキス分が瓶の口に固着し、開けにくならないよう、瓶口に「中栓」をつけました。液だれをなくし、飲み進めてもエキスが固着しづらく、いつでも開けやすい瓶口になりました。



薬用養命酒の7つの効きめ

「薬用養命酒」は人参など『^{エンジン}体質の不足を補う』生薬、桂皮など『^{カイヒ}体を温める』生薬、紅花など『^{コウカ}血行を良くする』生薬が処方されています。体の基本的な働きや体質を整えながら、本来の健康に導く滋養強壯の薬酒です。

● 次の場合の滋養強壯に

肉体疲労	冷え症	食欲不振
胃腸虚弱	血色不良	病中病後
	虚弱体質	

未病とは

疲れる、冷える、食欲がないなどの、自覚はあるが検査値に異常のない症状を不定愁訴といいます。東洋医学的な未病はこの不定愁訴の状態を指し、一方の西洋医学的な未病とは、自覚は何もないが検査値に異常のある、メタボリックシンドロームなどの状態を指します。未病は、放っておくといずれ病気になってしまうという、いわば“疾患準備状態”。病気になる前段階で治すことが大切です。

薬用養命酒の配合生薬

「薬用養命酒」に届け込む14種類の生薬です。

生薬は、複数種を組み合わせると、効きめの幅を広げます。

互いに良い所を引き出すことから、「生薬の相乗作用」といわれます。



インヨウカク
淫羊藿

イカリソウの地上部です。これを食べた羊が元気になったという故事とともに、強壮効果が知られています。



ウコン
鬱金

ウコンの根茎を用います。鮮やかな黄色で、ターメリックとして、カレー作りに欠かせないスパイスでもあります。



ケイヒ
桂皮

クスノキ科の植物「ケイ」の樹皮を用います。香りが良く、スパイスとしてはシナモンと呼ばれます。健胃薬として知られます。



コウカ
紅花

ペニバナの花を用います。鮮やかな赤色で、染料や油としても用いられます。血色を良くする作用があります。



ジオウ
地黄

ジオウの根。可憐な花とちりめん状の葉が特徴的な植物です。古くから体力をつける生薬として知られます。



シャクヤク
芍薬

「立てば芍薬…」とたとえられる美しい花を咲かせます。園芸にも用いられますが、生薬にはその根を用います。



チョウジ
丁子

チョウジのつぼみです。クローブの名前で、スパイスとしても広く用いられます。その香りが、食欲を増進させます。



トチュウ
杜仲

トチュウは一科一属一種の植物分類的にも珍しい植物です。お茶には葉を使いますが、生薬には樹皮を用います。



ニクジュヨウ
肉苁蓉

ハマウツボ科の植物ニクジュヨウの肉質茎。中央アジアなどの砂漠地帯に生えている植物の根に寄生する植物です。



ニンジン
人参

乾燥させたオタネニンジンの根です。中国では3000年前から用いられており、日本へは8世紀に伝来しました。強壮剤の代名詞的存在です。



ボウフウ
防風

ボウフウの根や根茎を用います。お正月に、一年の健康長寿を願って飲むお屠蘇にも使われています。



ヤクモソウ
益母草

メハジキの地上部です。「母に良い草」として、西洋でもローマ時代から婦人向けの薬として用いられてきました。



ウシヨウ
烏樟

クロモジの木や皮を用います。かじったり擦ったりするとさわやかな香りをたてます。高級楊枝の材料として用いられます。



ハンビ
反鼻

マムシの皮と内臓を取り除いて精製した生薬です。古くから強壮効果の良薬として知られています。

生薬とアルコールの協力作用

「薬用養命酒」は、生薬の持つ薬効を効率よく引き出すために、14種類の生薬を原酒に同時に浸漬します。すると成分が原酒とよく溶け合い、自然に近い状態で薬効成分が抽出されます。「合醸法」と呼ばれるこの薬酒本来の製法は、各生薬の成分の浸出速度がそれぞれ違うため、高度な技術と経験が要求されます。合醸と熟成の過程を経ることで、品質がまるやか

で芳醇となり、また、浸出過程では複数の生薬の薬効が結びつくため、生薬単体では得られない幅広い効果が得られます。なお、少量のアルコールには血行促進、消化促進、中枢神経抑制による催眠効果などの作用があり、これらが処方生薬の作用に加わることで、全体の作用が増幅される特徴があります。

酒類

確かな知見と技術力で、ハーブのお酒の魅力を生み出す

当社は、長年の知見を活かしてオリジナリティ溢れるお酒を製造してまいりました。特に、ハーブをあらかじめ配合し、そのまま原酒に漬け込む「合醸法」という伝統の手法を得意としています。

「合醸法」はハーブをそのまま漬け込むことで素材本来の良さをまるごと活かすことができる優れた製法と考えます。自然に生きるハーブには、多種多様な成分が含まれており、成分がどのように抽出されるかは、アルコール度数や温度、漬け込む時間だけでなく、ハーブの組み合わせ方でも変わります。その条件は複雑で、香

りや味わいを引き出し本当に美味しいハーブのお酒を造るためには高度な知見が必要です。

近年は、世界的なクラフトジンブームを見据えて蒸留の手法も取り入れました。蒸留機を導入するところからの挑戦でしたが、専門家からも認められるクラフトジンを製造することができました。

今後も、高品質のハーブのお酒とその魅力を皆様にお届けできるよう、伝統を守りながら革新に挑んでまいります。



夜のやすらぎ
ハーブの恵み



生姜のお酒



高麗人参酒



フルーツとハーブのお酒



香の森



香の雫



クラフトジンカクテル



はちみつのお酒



家醸本みりん

薬酒について

今から数千年前、人々はお酒に薬草を浸し薬酒にして飲用することを考え出しました。当時、お酒は今日のように酔うための飲み物ではなく、儀式などに用いられる貴重なものでした。古代、お酒の有用性が評価されていたことは、「酒は百薬の長」ともいわれ、また現在の「医」の字の古字が「醫」で医が酉(さけ)によって支えられたかたちになっていることからわかります。

西洋の場合も東洋と同様に薬酒の歴史は古く、修道院の僧侶たちは自らの体力増強や信者の福祉を目的に、薬酒やリキュールを造るようになったといわれています。また18世紀になると、イタリアを中心にワインに薬草や香料を加えた「ベルモット」が造られました。ベルモットは食前酒として親しまれており、薬酒の一種に加えることができます。

食品・飲料

生活のワンシーンに取り入れやすい商品の提案

当社は「すこやかでより良い時間を願う人々を応援する」という事業ビジョンを掲げています。黒酢や甘酒など、昔から親しまれてきた食品や、手軽に食べられるのど飴やグミなどにカラダに嬉しい素材をプラス。生活の中で不足しがちな栄養素や成分を補える商品を開発しています。また、近年では機能性表示食品や栄養機能食品の開発にも取り組んでおり、より様々なシーンで生活者の皆様に貢献できることを願っています。

また、特に注目している素材は「クロモジ」です。日本の山地に自

生するクスノキ科の落葉低木で、当社は長年研究を重ねてきました。クロモジエキスに含まれるポリフェノールなどの成分に様々な効果が実証されつつあり、期待が高まっています。新たな健康素材として、研究や商品開発を進めています。

※機能性表示食品・栄養機能食品とは？

機能性表示食品は、事業者の責任において科学的根拠をもとに機能性を表示するものとして、消費者庁に届け出られた食品です。栄養機能食品は、特定の栄養成分の補給のために利用される食品で、国の定める基準に従い栄養成分の機能を表示するものです。



養命酒製造クロモジのど飴



グミ×サプリ



養命酒製造 甘酒



食べる前のうるる酢Beauty



生姜黒酢



養命酒製造の黒酢

通信販売 Yomeishu オンラインショップ

当社が長年培ってきた生薬関連の研究をもとに開発した指定医薬部外品の「幸健生彩」、3種類の人参パワーで注目の活力源「カンカ」などの健康関連商品、「くらすわ」の商品など、当社商品を皆様のお手元へお届けいたします。

通信販売サイト

<https://www.yomeishu-online.jp/>



海外展開

世界の人々の健やかな暮らしのために

「人々の豊かな健康生活に貢献したい」という当社の願いは、国内だけにとどまりません。海外にも、長年にわたり、主力商品「養命酒」を輸出しております。

主な市場は、香港、マレーシア、シンガポール、台湾で、香港、マレーシア、シンガポールでは50年以上、台湾では20年以上、現地の方々にご愛飲いただいております。

「養命酒」は一つですが、国や地域によって、とらえられ方がさまざまです。そうした国・地域の文化や市場環境を考え、現地に即したマーケティング活動に取り組んでおります。

今後は、「養命酒」だけでなく、「ハーブのお酒」の輸出など、さらなる海外市場の拡大を目指してまいります。



ウェブによる 情報発信

ホームページやフェイスブックにより、キャンペーンなど各種情報を発信しています。「養命酒」という同じ商品を海外のお客様にどのようにご愛飲いただいているか、国や地域によって文化や広告表現が異なることなどがわかります。



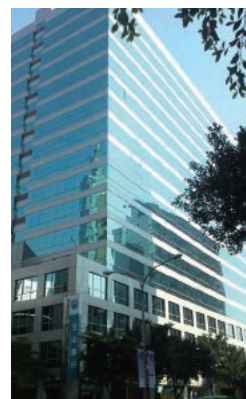
ウェブサイト(香港)



フェイスブック(マレーシア)

台北支店

2020年、台湾駐在員事務所を台北支店としました。現地に根差したマーケティングや販売施策を展開するほか、今後は新たな発展の可能性を広げるべく、東アジア全体を視野に入れ、事業を行ってまいります。



支店が入居するオフィスビル

くらすわ

「あなたの健やかさ。手の届く、カタチに。」をお届けする商業施設

地産地集

「くらすわ」は、その土地土地の優れたものを目利きし集め、それらを一番良いカタチに変え、お客様に心身ともに喜んで頂ける商品を提供する商業施設です。

健やかなモノ

提供する商品は、お客様に心とカラダの健やかさを感じて頂くための商品です。

手の届く、カタチに

これらの商品は決して高価ではなく、上質で高級なモノを、お客様が手の届きやすいリーズナブルな価格で提供しています。



くらすわ本店

「くらすわ」は、2010年、長野県諏訪湖畔の「くらすわ本店」から始まりました。この想いは、「東京スカイツリータウン・ソラマチ店」（東京都墨田区）、「和ダイニングくらすわ」（長野県松本市）、「くらすわ駒ヶ根店」（長野県駒ヶ根市）へと繋がり、広がりはじめています。

◆ くらすわ本店 (長野県諏訪市)

レストラン | ベーカリー・カフェ | ショップ

〈レストラン〉

信州十四豚(ジューシーポーク)や信州十四シャモ(ジューシーシャモ)などのオリジナルのブランド食材をはじめ、信州の豊かな自然に恵まれた旬の野菜や果物の素材を生かした料理を、目の前に広がる諏訪湖の景色と共に楽しみいただけます。

〈ベーカリー&カフェ〉

焼きたて自家製パンや挽きたてのオリジナルブレンドコーヒーなどのこだわりの商品を、木のぬくもりと爽やかな風を感じられる開放的なカフェスペースで楽しみいただけます。

〈ショップ〉

信州をテーマにした商品や、「くらすわ」のオリジナル商品を販売しています。

◆ 和ダイニングくらすわ (長野県松本市 信毎メディアガーデン)

レストラン

2020年、長野県松本市の中心街にオープン。信州の食材にこだわり、「くらすわ本店」のコンセプトを活かした創作和食のレストランです。



◆ くらすわ駒ヶ根店 (長野県駒ヶ根市)

ベーカリー・カフェ | ショップ

駒ヶ根工場の敷地内にある店舗です。

〈ベーカリー&カフェ〉

焼きたての自家製パンやオリジナルブレンドコーヒー、ハーブティーなどを、中央アルプス山麓の澄んだ空気と豊かな清流を感じながら楽しみいただけます。

〈ショップ〉

信州をテーマにした商品や、「くらすわ」のオリジナル商品を販売しています。



◆ くらすわMIDORI長野店 (長野県長野市)

ショップ

JR長野駅直結のMIDORI長野にある、「くらすわ」の商品を販売するショップです。

◆ くらすわ

東京スカイツリータウン・ソラマチ店 (東京都墨田区)

レストラン | ベーカリー | ショップ

2020年にオープン。「くらすわ本店」のコンセプトそのままの、レストランやベーカリー、ショップの施設です。



生産環境

緑豊かな駒ヶ根工場から「安心・安全」をお届けするために

中央アルプスと南アルプス、ふたつのアルプスを望む長野県駒ヶ根市。
澄んだ空気と清らかな水が、私たちの製品づくりの原点です。

▲ 駒ヶ根工場の環境

3000m級の山々が連なる中央アルプスと南アルプス。その間を流れる天竜川。駒ヶ根工場はこうした環境に抱かれた標高800mの高原にあります。敷地の広さは約36万㎡。そのおよそ70%が自然の森林に覆われています。

当工場では、「薬用養命酒」「夜のやすらぎ ハーブの恵み」「フルーツとハーブのお酒」「家醸本みりん」「養命水」などの商品を製造しています。いずれも原料として水を使用しており、この地でとれる中央アルプス空木岳の花崗岩層に磨かれた軟水は、製造に最適であるといわれています。工場立地の決め手となったのは、この水の品質の良さでした。



薬用養命酒製造工程

駒ヶ根工場では、原料や原酒の製造から、調製、瓶詰、包装に至るまで、すべてのプロセスで品質の向上に取り組んでいます。

1 原酒



原酒に用いる「みりん」は、蒸したもち米に麴(こうじ)を加え、一定期間熟成させて造ります。もち米が麴の作用によって糖化して、甘くまろやかな「みりん」になります。

2 原料生薬



原料である生薬がいつ、どこから入荷したものなのかを管理・保管し、製造する毎に粉碎、袋詰めをします。

3 浸漬、調製

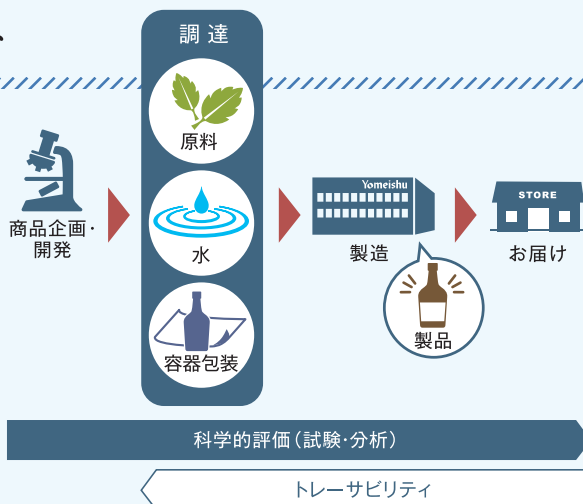


調合された生薬を原酒に浸漬し、循環させて有効成分を抽出します。生薬によって抽出の早さが異なるため、高度な技術と緻密な管理が必要となります。

安心・安全への取組み

独自の品質管理基準「Y-GMP」

「薬用養命酒」は、原料から製品に至るまで、工程毎の厳重な品質管理の下、医薬品等の製造管理と品質管理に関する基準であるGMP (Good Manufacturing Practice) に基づいて製造を行っています。工場における品質部門と製造部門が連携し、品質管理と製造管理の両面からより良い製品を工場から送り出せるよう日々努めています。



▲▲ 豊かな自然を守るために

工場敷地の森林を保護するためには、人の手により適度な管理をすることが必要となります。継続的に下草刈りや間伐を実施し、多様性のある豊かな森林の維持に努めています。また、間伐により発生した木材は、工場見学のお客様に、体験クラフト講座の材料としてご利用いただくほか、構内散策路に設置するベンチなどに利用しています。



養命酒駒ヶ根工場内遺跡

この遺跡は、1970年(昭和45年)に地元の考古学者によって発見されました。駒ヶ根工場の新設にあたり、本格的な調査を実施したところ、縄文、弥生、平安末期にかけての住居跡や土器、石器が発掘され、数千年の昔から人々がこの豊かな自然の中で生活を営んでいたことが明らかとなりました。当社では、各時代の住居を工場構内に復元し展示しており、地域の小中学生の社会学習の教材としてもご利用いただいています。



4 品質管理



多くの工程毎に、独自の厳しい品質基準による分析試験を繰り返し、品質管理を徹底して行います。

5 瓶詰



調製後の「薬用養命酒」は瓶詰室へ送られ、厳重な衛生管理の下、瓶詰めされます。

6 包装



瓶詰後、包装室に送られ、ラベルを貼付し、ケースに収めて完成品となります。そして、この工場から皆様の元へ届けられます。

商品開発センター

生活者の皆様のニーズに応えるために

商品開発センターの前身である中央研究所は、現代の科学が生まれる前に造られた、いわば経験的所産である「養命酒」に現代科学の光を当て、その内容や効能を科学的に解明し、時代の要求に応じた「養命酒」とするための研究開発部門として、1964年（昭和39年）に設立されました。2014年（平成26年）には新商品の開発・研究に注力する部門としての位置付けをより明確にするため、「商品開発センター」に名称を変更いたしました。生活者の皆様の健康に貢献できる新商品の開発に取り組んでいます。



商品開発センター（長野県上伊那郡）



🍷 酒類・食品開発

「養命酒」の製造で培ってきたハーブの知見や製造技術を活かし、おいしく、健康感のある商品開発を行っています。酒類については、お酒に様々なハーブを浸漬し、素材の持つ力と自然な風味を引き出した商品の開発を行っています。近年ではリキュールに加え、ジン（蒸留酒）なども開発し、商品の幅を広げています。食品については、ハーブや素材の持つ健康感や機能性に着目し、生活のワンシーンに取り入れやすく、不足しがちな栄養素や成分を手軽に補える商品を開発しています。

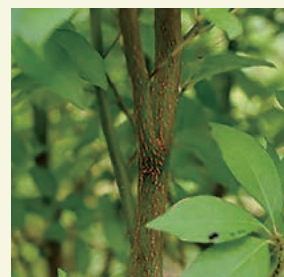
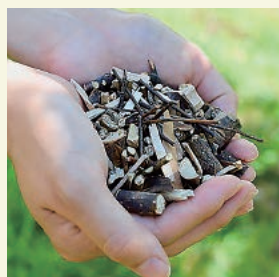
これからも「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の実現に向け、当社ならではの安心・安全な商品開発に取り組んでまいります。

🌿 「クロモジ」の更なる活用に向けて

クロモジに含まれるポリフェノール「プロアントシアニジン」は、細胞内の抗酸化酵素を活性化させ、活性酸素を中和することで、間接的にウイルスの増殖を抑えます。この抗ウイルス作用は、インフルエンザウイルスに限らず、ノロウイルスやロタウイルスなどの感染に対しても予防が期待できます。さらに、「プロアントシアニジン」が、ウイルスの表面に直接接触して膜を破壊し、ウイルスを不活化させることも分かっていることから、新たな機能性素材として、商品開発に向けた活動が始まっています。

クロモジとは

クロモジは、日本の山地に広く自生しているクスノキ科の落葉性低木です。緑の樹皮に黒い斑点があるのが特徴で、これが文字に見えたことから「クロモジ黒文字」と呼ばれるようになったといわれています。クロモジの幹枝を乾燥して用いたものが生薬の「ウシヨウ烏樟」。当社は「養命酒」の原料でもある烏樟の研究を長年続けてきたことから、クロモジの持つパワーにいち早く気づき、研究を進めてきました。



地球にやさしい自然エネルギー

保有資産を有効活用し、地球温暖化の原因となるCO₂を排出しない地球にやさしい太陽光発電に取り組んでいます。



太陽光発電所の概要

1961年(昭和36年)から「養命酒」の原料である原料用アルコールとブドウ糖の製造工場として利用しておりました埼玉県鶴ヶ島市の工場跡地を有効活用した太陽光発電事業に取り組んでおります。住宅地の中での事業ということで、周囲の景観にも配慮した敷地の中で、環境への負荷低減、電力供給懸念の対策、地域の環境教育などの社会貢献活動にも寄与したいと考えております。年間予想発電量は、一般家庭400~500世帯分の電力消費量に相当します。



施設名称	鶴ヶ島太陽光発電所
所在地	埼玉県鶴ヶ島市
敷地面積	約40,000㎡
発電出力	1,990kW
年間予想発電量	約2,625千kWh/年
CO ₂ 削減効果	約945t/年

eコラボ(エコラボ)つるがしま 環境教育施設



Photo Takumi Ota

「エネルギーと地球環境問題、防災を考える」をテーマに、太陽光発電所に併設された見学のための施設です。どなたも自由に見学ができ、太陽光発電のしくみや自然エネルギーについて学ぶことができます。

東洋大学建築学科ソーシャルデザインスタジオの「鶴ヶ島・未来との対話プロジェクト2013」として学生と地域住民の皆様が意見交換を積み重ね設計された住民参加型の建築物です。災害時には、地域の皆様が利用できるよう、蓄電池システム、電気自動車との相互電力供給などの設備を有し、井戸水を活用した災害時対応の機能も有しています。

この環境教育施設は、2015年度グッドデザイン賞を公共用の建築・施設部門で受賞しました。地域還元のための施設として、新しい市民参加のあり方を建築的に示し、小規模ながら郊外における公共施設の設計手法について新しい提案を行なっていることが評価されました。今後も、環境教育施設として皆様にご満足していただけるよう努めてまいります。

社会の一員として

行動規範

当社は、役員および従業員一人ひとりが「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念に基づき、社会的良識と責任をもって行動するため、「行動規範」を定めています。

地域・社会貢献活動への取組み

[緑化活動]



工場構内の森林を計画的に間伐し、管理しています。人を癒し、未来へとつながる美しい里山の森を理想とした森づくりを進めています。

[ボランティア活動]



信州駒ヶ根ハーフマラソンのコース整備や、当日の運営スタッフとして協力しています。

[工場周辺の清掃活動]



工場周辺の道路清掃や、「天竜川水系環境ピクニック」として、天竜川の河川清掃に参加しています。

[社会体験活動]



中学生から社会人まで工場内での研修を通じて社会体験活動を行っています。

[養命酒ハーブの庭]



薬用養命酒にも使われる芍薬、クロモジ(ウシヨウ)のほか、約160種の薬草やハーブ、季節の花を楽しめます。

[駒ヶ根工場見学]



製造工程を実際にご覧いただくことで、安心安全な製品であることを実感していただけるよう、見学コースを設け、一般に公開しています。

養命酒製造株式会社駒ヶ根工場 環境方針

養命酒製造株式会社駒ヶ根工場は、養命酒等の生産において、緑と水に恵まれた伊那谷の自然環境との調和を考慮した環境の保全活動を行います。

1. 地球環境の保全と維持のため、環境に係わる法律、協定等を遵守し、汚染の未然防止を図るなど、生産活動に配慮します。
2. 生産活動が環境に与える影響を的確にとらえ、環境目的、目標を明確にし、環境管理システムの維持的改善を推進します。
3. 資源の有効利用と廃棄物の適正処理を推進し、環境に与える負荷を低減します。
4. 地域社会との共生に努めるとともに、自然環境との調和に配慮した企業活動に努めます。
5. 工場の全従業員に対し、環境についての教育、情報の周知を行い、環境方針の理解と環境保全の意識高揚を図ります。

駒ヶ根工場へのアクセス



〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂16410
TEL 0265-82-3310(見学受付)

- ・駒ヶ岳スマートIC東京方面から約5分、名古屋方面から約1分
- ・駒ヶ根ICから車で約15分
- ・駒ヶ根駅からタクシーで約15分

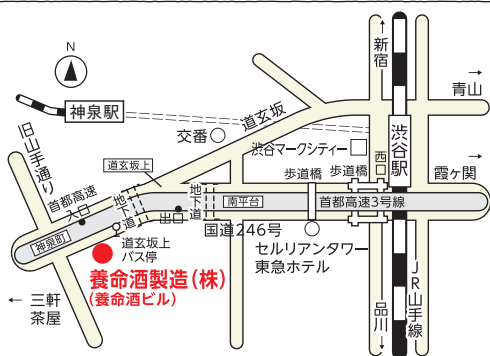
くらすわへのアクセス



〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り3-1-30
TEL 0266-52-9630(代表)

- 0266-52-9640(レストラン)
- ホームページURL <http://www.clasuwa.jp/>
- ・諏訪ICから車で約15分
- ・上諏訪駅から徒歩約10分

東京本店へのアクセス



- 〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16-25
 TEL 03-3462-8111(代表)
- ・渋谷駅西口(南改札)から徒歩約12分
 - ・渋谷駅西口バスターミナルから「上町駅行」ほか、1つ目バス停「道玄坂上」正面
 - ・京王井の頭線 神泉駅から徒歩約5分

鶴ヶ島太陽光発電所へのアクセス



- 〒350-2204 埼玉県鶴ヶ島市鶴ヶ丘331-1
- ・東武東上線鶴ヶ島駅から徒歩約20分
- 当施設の見学案内は、地域との取り組みにおけるエネルギー教育の一環として「特定非営利法人 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会」が行っています。
- 【見学のお問い合わせ・お申し込み】
 TEL 049-298-7974(電話受付時間10:00-15:00)
 特定非営利法人 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会 事務局

次のすこやかさへ、一步一步



Yomeishu



1955年東証上場

会社概要

2021年3月31日現在

社名 養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.
所在地 東京都渋谷区南平台町16-25
設立 1923年(大正12年)6月20日
資本金 16億5,000万円
事業内容 養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売
飲食店及び売店の経営、不動産の賃貸
自然エネルギー等による発電事業及び
電気の供給、販売等に関する業務
事業年度 毎年4月1日より翌年3月31日まで
従業員数 291名
ホームページアドレス <https://www.yomeishu.co.jp/>

株式情報

2021年3月31日現在

上場 東証市場第1部、名証市場第1部
証券コード 2540
一単元の株式数 100株
発行可能株式総数 66,000,000株
発行済株式の総数 16,500,000株
株主数 9,415名

事業所

本店 〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16-25 電話 03-3462-8111
大阪支店 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島6-2-6 大阪安藤ハザマビル4階 電話 06-6455-5700
駒ヶ根工場 〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂16410 電話 0265-82-3311
商品開発センター 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町中箕輪2132-37 電話 0265-79-5678
くらすわ本店 〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り3-1-30 電話 0266-52-9630
鶴ヶ島太陽光発電所 〒350-2204 埼玉県鶴ヶ島市鶴ヶ丘331-1 電話 03-3462-8118
台北支店(Yomeishu Seizo Co., Ltd. Taipei Branch) 14F, No.51, Sec.2, Keelung Rd., Xinyi Dist.Taipei 11052, Taiwan 電話 +886-2-2736-9588

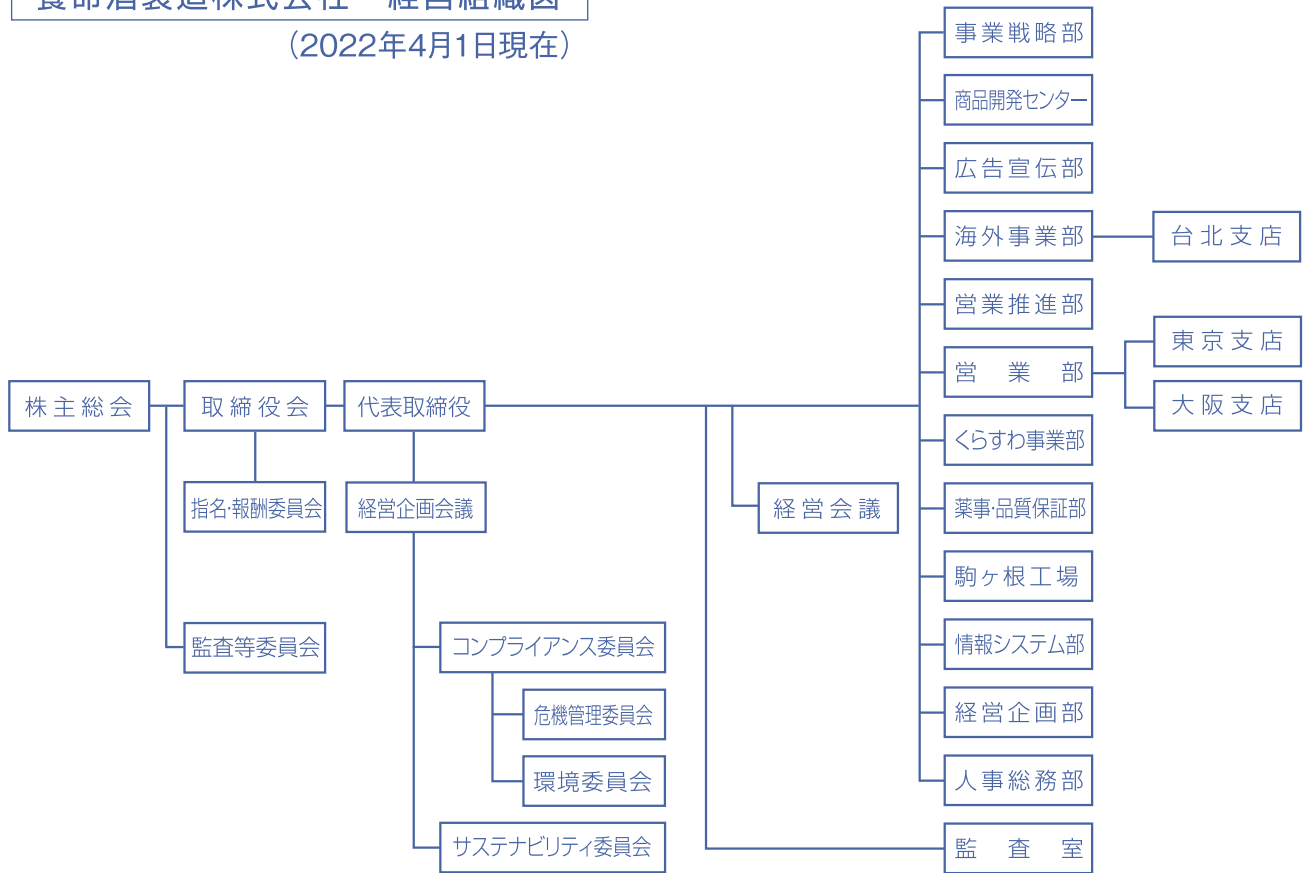
会社沿革

1923年(大正12年) 長野県上伊那郡に株式会社天龍館設立、塩澤家より「養命酒」の事業を継承
1925年(大正14年) 東京・渋谷に天龍館東京支店を開設、「養命酒」の全国販売に踏み出す
1951年(昭和26年) 長野県岡谷市に岡谷工場を新設。商号を養命酒製造株式会社に改称
1953年(昭和28年) 京都府宇治市に関西支店(のち京都市をへて1971年に大阪市に移転、大阪支店と改称)を開設
1955年(昭和30年) 東京証券取引所に上場
1961年(昭和36年) 埼玉県鶴ヶ島市に埼玉工場を新設(2006年に閉鎖)
1964年(昭和39年) 長野県岡谷市に技術研究所を開設
1972年(昭和47年) 長野県駒ヶ根市に駒ヶ根工場を新設(同年岡谷工場を閉鎖)
1975年(昭和50年) 長野県箕輪町に中央研究所を新設(同年技術研究所を閉鎖)(2014年に商品開発センターに改称)
1982年(昭和57年) 「家醸本みりん」を発売
1989年(平成元年) 本店新社屋竣工
1994年(平成6年) 中央研究所新棟が竣工
2002年(平成14年) 養命酒創始400年記念式典開催、養命酒創始400年記念館竣工
2005年(平成17年) 大正製薬株式会社との業務・資本提携を発表。駒ヶ根工場に「養命酒健康の森」(2021年に「くらすわ駒ヶ根店」にリニューアル)開設
2006年(平成18年) インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」(2012年に「Yomeishuオンラインショップ」にリニューアル)開設
「幸健生彩」、「養命水」を発売
2010年(平成22年) 「ハーブの恵み」(2020年に「夜のやすらぎ ハーブの恵み」にリニューアル)を発売
長野県諏訪市に商業施設「くらすわ」を開業
2013年(平成25年) 「食べる前のうるる酢」、「フルーツとハーブのお酒」を発売。埼玉県鶴ヶ島市に「鶴ヶ島太陽光発電所」を開設
2014年(平成26年) 「鶴ヶ島太陽光発電所」に見学施設「eコラボ(エコラボ)つるがしま」を開設、「食べる前のうるる酢 ビューティー」発売
2016年(平成28年) 「琥珀生姜酒」(2020年に「生姜のお酒」にリニューアル)、「グミ×サプリ」、「養命酒製造の黒酢」を発売
2017年(平成29年) 「はちみつのお酒」、「高麗人参酒」、「生姜黒酢」、「高麗人参黒酢」を発売。茨城県水戸市に「水戸 養命酒薬用ハーブ園」を開設
2018年(平成30年) 「養命酒製造 甘酒」、「養命酒製造のど飴」(2020年に「養命酒製造クロモジのど飴」にリニューアル)を発売
2019年(平成31年) クラフトジン「香の森」、「香の雫」、「クラフトジン カクテル」を発売
2020年(令和2年) 台湾台北市に台北支店を開設。東京都墨田区に「くらすわ 東京スカイツリータウン・ソラマチ店」、
長野県松本市に「和ダイニングくらすわ」開業



養命酒製造株式会社 経営組織図

(2022年4月1日現在)



経営体制

代表取締役会長	川村 昌平	上席執行役員 商品開発センター長	丸山 明彦
代表取締役社長	塩澤 太郎	上席執行役員 事業戦略部長	宮下 克彦
取締役副社長執行役員 経営企画、人事総務担当	田中 英雄	上席執行役員 経営企画部長	井川 明
取締役常務執行役員 営業担当	神林 敬	上席執行役員 人事総務部長	清水 政明
取締役常務執行役員 薬事・品質保証、生産担当	大森 勉	広告宣伝部長	日渡 久人
取締役常務執行役員 DX担当	斉藤 隆	海外事業部長兼台北支店長	内藤 久嗣
取締役 常勤監査等委員※	野崎 知	営業推進部長	今鉢 和宏
取締役 監査等委員※	笠原 孟	営業部長	北原 諭
取締役 監査等委員※	須永 明美	くらすわ事業部長	福盛 禎仁
		薬事・品質保証部長	田辺 章二
		駒ヶ根工場長	鳥羽 定良
		情報システム部長	谷村 孝之
		監査室長	上野 晴彦
		商品開発センター副センター長	林 克彦

※ 社外取締役であります。



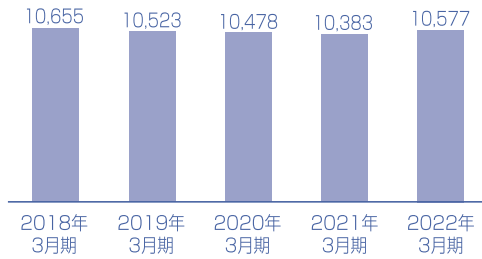
主要な経営指標等の推移

回次		第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
決算年月		2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
売上高	(千円)	10,655,361	10,523,794	10,478,935	10,383,596	10,577,246
経常利益	(千円)	829,774	876,918	937,272	1,009,759	1,361,726
当期純利益	(千円)	1,615,064	686,793	787,894	807,559	949,899
資本金	(千円)	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000
発行済株式総数	(株)	16,500,000	16,500,000	16,500,000	16,500,000	16,500,000
純資産額	(千円)	41,454,144	40,622,290	39,201,906	41,564,510	42,179,613
総資産額	(千円)	47,318,423	46,347,190	44,879,595	47,869,986	48,614,142
1株当たり純資産額	(円)	3,019.73	2,957.48	2,851.21	3,018.77	3,058.44
1株当たり配当額	(円)	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
1株当たり当期純利益金額	(円)	117.68	50.01	57.32	58.67	68.91
自己資本比率	(%)	87.6	87.6	87.3	86.8	86.8
自己資本利益率	(%)	4.0	1.7	2.0	2.0	2.3
株価収益率	(倍)	20.3	42.6	34.2	32.5	25.5
配当性向	(%)	34.0	80.0	69.8	68.2	58.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	759,705	1,328,030	1,363,185	1,409,177	1,806,702
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	791,553	Δ2,493,695	Δ1,034,458	Δ217,201	Δ1,399,038
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	Δ553,200	Δ549,627	Δ551,293	Δ551,495	Δ551,808
現金及び現金同等物の期末残高(千円)		3,874,447	2,159,075	1,934,061	2,575,338	2,432,696
従業員数	(名)	276	271	280	291	292

財務ハイライト

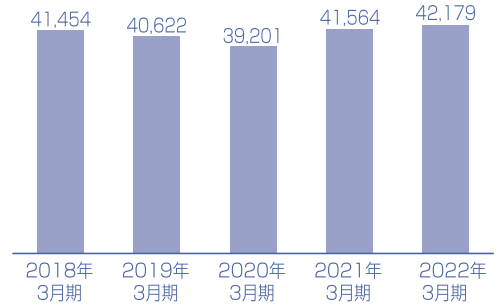
売上高

(単位:百万円)



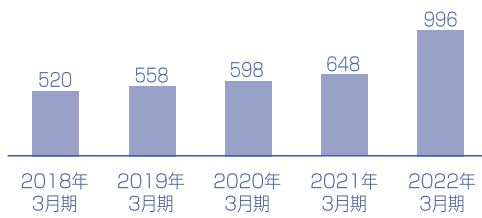
純資産

(単位:百万円)



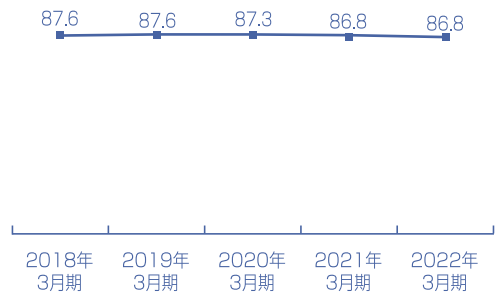
営業利益

(単位:百万円)



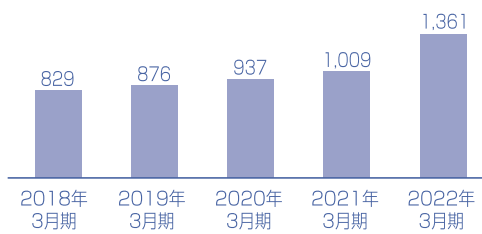
自己資本比率

(単位:%)



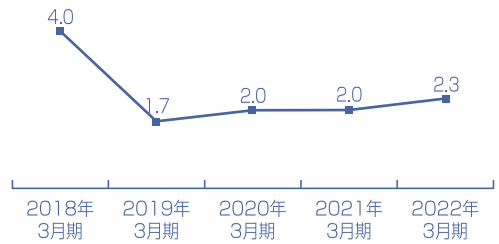
経常利益

(単位:百万円)



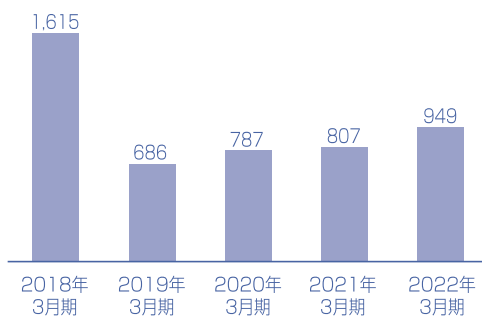
ROE(自己資本利益率)

(単位:%)



当期純利益

(単位:百万円)



総資産

(単位:百万円)

